

2022 年 7 月 新莊公民館だより



TEL42-8097

人口・世帯数(5月末現在)		
	新莊地区	安和地区
世帯数	815 戸	323 戸
男	800 名	332 名
女	831 名	359 名
合計	1631 名	691 名

新莊公民館・7月行事予定

日	曜日	予 定	予定場所	主団体
10 ~ 20	日 ~ 水	「部落差別をなくする運動」強調旬間		
毎月	第一水	憩いの里レクリエーション(11:00~)	新莊公民館	新莊憩いの里
毎週	水	いきいき百歳体操(10:00~)	新莊公民館	憩いの里体操
毎週	水	いきいき百歳体操(10:00~)	あったかふれあいセンター安和	わかば会
毎週	金	百歳体操(9:00~)	いセンター安和	なぎの海
毎週	土	命の貯蓄体操(9:30~)	安和交流会館	安和命の貯蓄体操
毎週	月・金	命の貯蓄体操(19:30~)	新莊公民館	新莊婦人会
16	土	第3土曜日・お弁当宅配	新 莊 地 区 民 児 協	
24	日	第4日曜日・お弁当宅配	安 和 地 区 民 児 協	

かわうそフェスティバルの中止のお知らせ

毎年、7月下旬に子供たちや青少年の健全な育成を目標とし、地域の保育園児・小学生等の児童を主として、かわうそフェスティバルを開催しておりましたが、今年も昨年、一昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止する事といたしました。

来年は開催できることを祈って感染予防をしながらこの暑い夏を乗り切りましょう。



『部落差別をなくする運動』強調旬間 パネル展示のご案内

7月10日~20日は『部落差別をなくする運動』強調旬間です。これまでは講演会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度はパネル展示を行うこととしました。公民館の近くにお越しの際は見学に立ち寄ってみてください。



憩いの里 研修旅行

憩いの里の皆さんが研修旅行に行ってきました。行先は中土佐町久礼の大正町市場でしたが久しぶりの事でとても楽しい時間を過ごせたようでした。コロナ禍の中ではありますが皆で過ごせる時間を作れたことが良かったと思います。



救急救命講習会

6月18日新莊小学校の救急救命講習会に新莊地区住民会議も参加させていただき一緒に講習を受けました。緊急時の対応の仕方を知っておくことは大切なことだと思います。沢山の皆様に参加をして頂きありがとうございました。

救命処置の手順▼反応の確認／呼吸の確認／胸骨圧迫／人工呼吸／AEDの使い方

反応の確認

傷病者を見つけたら、自分の安全も確保してから傷病者に近づき、反応があるかどうか、確認しましょう。

- 「大丈夫ですか」と呼びかけながら、傷病者の肩をやさしく叩く。
- 目を開けたり、何らかの応答や目的のある仕草があれば、「反応あり」。
- 傷病者の訴えを聞きながら応急手当を（P4～P7）。
- 反応がなければ大声で応援を呼び、119番通報とAEDの手配をする。

チェック!

心停止直後のひきつるような動き（バブル）は、「反応なし」と判断する。



呼吸の確認

呼吸があるかないかは、胸とお腹の動きを観察して判断します。

胸とお腹が動いていない、または普段どおりの動きではない（しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸）の場合は、呼吸をしていない（心停止）と判断します。

動かない
または普段どおりの動きではない ⇒ 呼吸がない
胸とお腹が
上がった下がったりする ⇒ 呼吸がある

チェック!

- 判断に迷う場合は、呼吸がないものとみなす。
- 呼吸の確認には10秒以上かけないように。

胸骨圧迫（心肺蘇生）

呼吸がなければ、すぐに胸骨圧迫（心肺蘇生）を始めます。

- 1 圧迫位置を確認する。
- 2 両手を重ねて、圧迫位置に置く。
- 3 両ひじをまっすぐ伸ばし、圧迫位置の真上から、体重をかけて強く圧迫する。
- 4 1分間に100～120回の割合で、可能な限り中断せずに傷病者の胸が、約5cm沈み込む程度に圧迫する。

*1 心臓マッサージは両手で行うが、乳児（1歳未満）の場合は2本の指で行う。
*2 乳児・小児の場合は、胸の厚さの約3分の1の深さまで圧迫する。



胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ

（心肺蘇生） 人工呼吸ができる場合は、胸骨圧迫に続けて人工呼吸を行います。

気道確保

- 1 片手を傷病者の額に当てる。
- 2 もう一方の手の指先をあごに当てて、頭を後ろにのけぞらせる。

人工呼吸

- 1 気道を確保したまま、額に当てた手の親指と人差し指で鼻をつまむ。
- 2 傷病者の口を覆い1秒かけて息を吹き込む（傷病者の胸が持ち上がるのを確認する）。
- 3 息が自然に出たら、2回目の吹き込みをする。



「胸骨圧迫30回、人工呼吸2回」の組み合わせを、AEDが到着するまで、あるいは救急隊に引き継ぐまで絶え間なく繰り返す。

ただし、傷病者がうめき声を出したり、普段どおりの息をはじめたときには心肺蘇生を中止し、傷病者の寝かせ方（P4）にして様子を見守る。

チェック!

人工呼吸がうまくできない、口と口の接触がためらわれる場合などは、胸骨圧迫のみを続けます。ただし、右に挙げた状況では、胸骨圧迫と併せて人工呼吸を行うことが望めます。

人工呼吸の実施が望まれる場合
窒息・溺れた・子どもの心停止・救急隊が来るまでに時間がかかる など

AEDの使い方

AEDが到着したら、傷病者に装着しAEDの指示に従って操作してください。現場にAEDがある場合は、AEDを優先的に使用しましょう。

AEDとは、心停止状態にある心室細動を電気ショックによって除去（除細動）し、心臓を正常な状態に戻す装置です。自動的に傷病者の心電図を解析し除細動の必要性を判断したうえで、音声メッセージにより必要な処置を指示します。心停止から5分以内の電気ショックの実施が、心停止状態の傷病者の蘇生・社会復帰の確率を高めます。救急現場にAEDがある場合には、落ちついてAEDを使いましょう。



- 普段どおりの息をはじめた場合
- 嫌がって動かし出した場合
- うめき声を出した場合

電極パッドをはりつけたまま体を横向き（傷病者の寝かせ方／P4参照）にして様子を見守る。

チェック!

- AEDは2分おきに自動的に心電図解析を始め、そのつど「体から離れてください」などの音声がかかります。傷病者から手を離し、周囲の人にも離れるよう声をかけてください。
- 「ショックは必要ありません」のメッセージを、「心肺蘇生をやめてよい」と誤解しないようにしてください。